

※個々の用語・表現につき、イートモ検索で得られた対訳を 1 件のみ提示します。

出典：<https://answers.ten-navi.com/pharmanews/20511/>

和文原稿

「バベンチオ」尿路上皮がんの適応追加が承認

メルクバイオファーマは 2 月 24 日、免疫チェックポイント阻害薬の抗 PD-L1 抗体「バベンチオ」(一般名・アベルマブ)について、「根治切除不能な尿路上皮がんにおける化学療法後の維持療法」の適応追加の承認を取得したと発表した。白金製剤を含む 1 次治療で疾患進行が認められていない患者を対象に行った P3 試験では、対照群と比較して全生存期間を有意に延長。尿路上皮がんに対する維持療法で承認を取得している免疫チェックポイント阻害薬は同薬のみ。

「バベンチオ」尿路上皮がんの適応追加が承認

メルクバイオファーマは 2 月 24 日、免疫チェックポイント阻害薬の抗 PD-L1 抗体「バベンチオ」(一般名・アベルマブ)について、「根治切除不能な尿路上皮がんにおける化学療法後の維持療法」の適応追加の承認を取得したと発表した。白金製剤を含む 1 次治療で疾患進行が認められていない患者を対象に行った P3 試験では、対照群と比較して全生存期間を有意に延長。尿路上皮がんに対する維持療法で承認を取得している免疫チェックポイント阻害薬は同薬のみ。

尿路上皮がん→尿路上皮癌

Drug A monotherapy provided clinical benefit, irrespective of PD-L1 expression, and was associated with an acceptable safety profile in previously treated patients with urothelial carcinoma.

薬剤 A 単独療法は、PD-L1 発現の有無に関係なく、治療歴のある尿路上皮癌の患者に対して臨床効果をもたらし、それに伴う安全性プロファイルは許容できるものであった。

Drug A is a programmed cell death protein-1 (PD-1) immune checkpoint inhibitor.

薬剤 A はプログラム細胞死タンパク質 1 (PD-1) 免疫チェックポイント阻害薬である。

Similar increases in T-cell infiltration were observed in mice treated with anti-PD-L1 antibody.

同程度の T 細胞浸潤亢進が抗 PD-L1 抗体が投与されたマウスでも認められた。

Record the generic name (International Nonproprietary Name) for medications with one active ingredient.

有効成分が 1 つの薬剤については一般名(国際一般名)を記録する。

根治→根治療法

Hematopoietic cell transplantation (HCT) can be radical treatment for lymphoid malignancies.

造血細胞移植(HCT)がリンパ性腫瘍の根治療法になる。

Company A and Company B then conducted a joint foreign phase III study in patients with unresectable malignant melanoma who had received prior therapy.

次に、会社 A と会社 B は前治療を受けたことがある切除不能な悪性黒色腫の患者を対象に共同で海外第 III 試験を行った。

In 20 patients, no tumor was found at postchemotherapy surgery, pathologically confirming a complete response to chemotherapy.	患者 20 例では 化学療法後 の手術時に腫瘍は認められず、化学療法による完全奏効が病理学的に確認された。
Drug A has been approved in the US as a twice-daily maintenance treatment of airflow obstruction in patients with COPD with a dose of 10.0 µg per administration.	薬剤 A は、COPD 患者の気流閉塞の治療用に、米国で 1 日 2 回の 維持療法 (1 回あたり 10.0µg の用量)が承認されている。
This development project targeting an additional indication of atrial fibrillation was based on the request from healthcare professionals in the clinical setting.	心房細動の 適応追加 を目指すこの開発プロジェクトは現場の医療従事者からの要望に基づくものであった。
Company A has obtained the marketing approval of Drug A indicated for treatment of hypertension in Japan.	会社 A は、高血圧の治療を効能・効果とした薬剤 A の日本国内における製造販売 承認 を取得した。
Drug A was associated with significantly longer overall survival (by approximately 3 months) and with a lower rate of adverse events than Drug B for platinum-based chemotherapy-refractory advanced urothelial carcinoma.	薬剤 A では、 白金製剤 をベースとした化学療法が無効の進行尿路上皮癌に対して、薬剤 B よりも全生存期間が有意に長く(約 3 ヶ月間長い)、有害事象の発現率が低かった。
For unresectable thymic carcinoma, platinum-based first-line therapy is recommended.	切除不能な胸腺癌に対しては、白金製剤をベースとする 1次治療 が推奨されている。
疾患進行→病勢進行	
A total of 15 reports of deaths were received, of which 8 were considered to be due to disease progression.	計 15 件の死亡報告を受け取り、そのうち 8 件は 病勢進行 によるものと考えられた。
Data are available that demonstrate a significant increase in overall survival with Drug A for the treatment of colorectal cancer.	結腸直腸癌の治療に対する薬剤 A の使用で 全生存期間 の著しい延長を証明するデータが得られている。
Drug A significantly prolonged time to progression (TTP) vs placebo.	薬剤 A はプラセボと比較して無増悪期間(TTP)を 有意に延長 させた。